

## 【問題】

症例：28歳，男性.

主訴：黒色便.

現病歴：3週間ほど前から便秘と腹痛が出現し，1週間前から黒色便・咳嗽も出現してきた。その後，立ちくらみを強く自覚するようになり，当科を受診した。

既往歴・家族歴：特記事項なし.

生活歴：喫煙（-），飲酒（-）.

来院時現症：身長175cm，体重61kg，血圧110/52mmHg，脈拍112/min，体温37.1℃，眼瞼結膜に軽度の貧血を認め，また腸蠕動音の低下を認めた。

検査所見：WBC 13000/mm<sup>3</sup>，HB 6.4g/dl，Hct 19.8%，Plt 21.3万/mm<sup>3</sup>，GOT 14IU/l，GPT

13IU/l，LDH 428IU/l，ALP 182IU/l， $\gamma$ -GTP 15IU/l，CPK 77IU/l，TP 6.2g/dl，Alb 3.8g/dl，BUN 15mg/dl，Cre 0.56mg/dl，Na 138mmol/l，K 3.8mmol/l，Cl 102mmol/l，CRP 1.4mg/dl，CEA 6.1ng/ml，CA19-9 <1U/ml，AFP 2ng/ml.

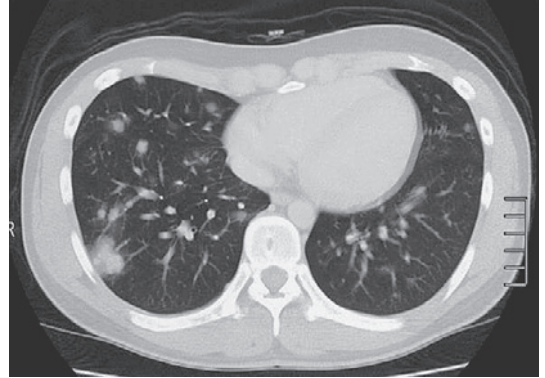
画像検査：上部消化管内視鏡検査 (Figure 1)，胸部CT検査 (Figure 2)，腹部造影CT検査 (Figure 3)。

1. 診断の助けとなる腫瘍マーカーはなにか？
2. 診断は？

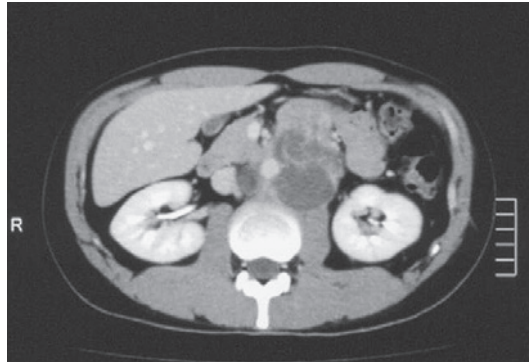
解答は日本消化器病学会雑誌109巻1号をご覧ください。



**Figure 1.** 胃体中部前壁に出血をともなう隆起性病変を認める.



**Figure 2.** 両側に多発する結節性陰影を認める.



**Figure 3.** 後腹膜に径約7cmの内部低吸収域をともなう腫瘤を認める.